

農林水産委員会

全国をリードする
農業政策の展開は
畑地再生事業により耕作放棄地の
解消に取り組んでいく

問 国では、コメ政策の見直しなど大きな制度改正の議論が進んでいるが、農業産出額全国第二位である本県は、全国をリードする農業政策を展開していくべきではないか。

答 本年度から取り組んでいる「いばらきの畑地再生事業」は、全国的な課題となっており耕作放棄地対策として、国に先駆けた事業と考えている。今後は、この事業の成果が全国モデルとなるよう、耕作放棄地の解消に取り組んでいく。

問 エネルギーの地産地消が必要と考えるが、本県における木質バイオマスエネルギーの利用状況は。

答 宮の郷工業団地において未利用間伐材などを活用した木質バイオマス発電事業が計画されているほか、温浴施設に木質ボイラーを導入し、地元の木材を燃料に利用する動きなどがある。将来的には農業への活用も検討していく。

問 福島第一原発からの汚染水漏洩問題など、本県の水産業は厳しい状況にあるが、「攻めの水産業」を展開していくことも必要ではないか。

答 水産試験場では、生シラ



(左)対策が求められている耕作放棄地 (右)耕作放棄地を再生(イメージ)

スの鮮度保持技術や、商品力を向上させるパッケージの開発など新たな取り組みにより漁業者を支援している。また、「寒曳きワカサギ」などの魅力ある地産品を積極的にPRし販売促進を図っていく。

問 需要が伸びている加工・業務用野菜の生産拡大に、本県でも積極的に取り組むべきではないか。

答 野菜を生産する農業者と加工事業者などの取引を支援するマッチングサイトを開設しているほか、県内産野菜を扱う加工工場の整備を支援するなどして、加工・業務用野菜の生産拡大を図っていく。(ほかに、関西地域での本県農林水産物の販売促進、燃油価格高騰対策なども質問)

土木企業委員会

歩行者の安全確保の
取り組みは
通学路の危険箇所などを中心に
対策を推進する

問 通学路の緊急合同点検結果への対応や歩道整備などを積極的に進め、歩行者の安全確保に努めるべきである。現状と今後の取り組みは。

答 学校、警察、道路管理者などによる緊急合同点検で抽出された対策必要箇所の約八割の対策が完了した。未対策箇所のうち、土木部所管の箇所については、今後三年間で対策の完了を目指す。県管理道路の歩道整備率は全国第五位まで上がってきており、今後一層の整備推進に努める。

問 十一月に施行された改正耐震改修促進法により、旅館業などでは耐震診断や改修費用の負担が課題となっている。県としても補助制度を創設すべきと考えるが。

答 法改正の趣旨をしっかりと踏まえ、建築物の耐震化が促進されるよう、財政部局と協議のうえ、国の助成制度を活用した補助制度の創設に努めていく。

問 県の技術職員が大量退職していく中、安定した事業執行のために職員や技術力をどのようにに補完していくのか。



歩道設置により歩行者の安全が確保された道路

は若手職員の早期退職も見受けられる。嘱託や再任用職員の活用による人員確保とともに、技術力確保のため、退職した職員に災害時の対応や職員の技術指導について協力を求めることを検討したい。

問 県発注の建築工事において入札不調が多く発生している。その原因と今後の対応は。

答 技術者不足や設計価格が実勢価格に合わないことなどが原因と考えている。技術者の不足は切実な課題と認識しており、設計価格については見積単価の採用などにより実勢価格に近づける対応を行っているところである。(ほかに、県営住宅家賃の寡婦控除適用、阿字ヶ浦海岸の侵食対策なども質問)

問 犯罪抑止力の強化には、マンパワーが必要であり、そのためには、警察官の増員と組織内の人員配置の効率化が必要と考えるがどうか。

答 本県は警察官一人あたりの負担人口が六百二十一人と

文教警察委員会

いばらきっ子郷土検定事業の
今後の展望は
生徒が他県の方に茨城の情報を
発信できるように頑張っていく

問 十一月に実施された「いばらきっ子郷土検定」の参加状況は。また、今後、どのように事業を進めていくのか。

答 県内の中学二年生を対象に実施し、全体で九割以上の学校、約二万六千人の生徒が参加した。今後は、私立学校への参加をさらに働きかけるとともに、生徒の郷土に対する理解を深めることを通じて、他県の方に茨城のことを情報発信できるようにしていく。

問 精神的なものが原因で療養休暇や休職となる教員もいるが、教員への支援体制はどのようにになっているのか。

答 教職員相談室を設け、教員OBなどによる面接や電話相談を行っている。また、専門的カウンセリング機関や専門医による面接相談のほか、インターネットを利用したメール相談など、各種相談窓口を設置し、教員への支援を行っている。

問 犯罪抑止力の強化には、マンパワーが必要であり、そのためには、警察官の増員と組織内の人員配置の効率化が必要と考えるがどうか。

いばらきっ子郷土検定に挑戦する中学2年生

